

# 第6期 pES club シナリオ 1

平成 19 年 1 月 28 日

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは、黒蘭歯科大学附属病院で1年目の研修をしている歯科医師です。

出留野知賀さん(30歳,女性)は、現在妊娠12週の妊婦さんです。最近、歯磨き中に時々出血することが気になっていましたが、それを母親に話したところ、妊娠中に歯周病にかかっていると低体重の赤ちゃんが生まれやすいと新聞で読んだことがあると言われ、出留野さんはすっかり心配になってしまいました。そこで先日、助産師相談を受けた際、助産師さんにそのことを尋ねてみたところ、妊娠中はホルモンバランスが変わるため可能性はあるものの、よく分からないとの返事でした。心配なら歯科で相談してみたらどうかと勧められたため、あなたの外来を受診しました。

あなた「出留野さんは最近、歯磨きをしているときに出血するようになったんですね」

出留野さん「はい、前にもたまに血が出るのがあったのですが、赤ちゃんが出来て、それが増えた気がします」

あなた「そうですか。妊娠すると歯ぐきが腫れたり、出血しやすくなる方が多いですから、そのせいでしょうね」

出留野さん「歯周病って言うんですよね？母が新聞か何かで、歯周病があると体重の少ない赤ちゃんが産まれると書いてあるのを見たと言っていたんですが、本当ですか？」

あなた「ええ、最近そう言われていますね。ですから、歯周病はきちんと治しておいた方がいいと思いますよ」

出留野さん「やっぱり小さい赤ちゃんが生まれちゃうんですか。．．．怖いんですね、歯周病って．．．」

あなた「あ、いえ、必ずそうなるわけではないと思いますよ。歯周病があるとどれくらい生まれてくる赤ちゃんの体重に影響するのか、今度までに調べておきますね」

あなたは、歯周病がどのくらい出生時低体重のリスクになるか、調べてみることにしました。

# 第 6 期 pES club シナリオ 1 (追加シナリオ)

平成 19 年 1 月 28 日

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

出留野さんは結婚して 3 年目で、夫と 2 人暮らし、今回が初めての妊娠です。これまでの妊娠経過では、何も異常は指摘されていません。出留野さんの月経周期は約 28 日、月経時の出血量は特に多くは無かったとのこと。

既往歴については、糖尿病、高血圧を含め、特に病気にかかったことはなく、会社の健康診断でも異常を指摘されたことはありません。今回の採血でも、凝固能を含めて、特に異常は認められませんでした。実家には両親と 27 歳の妹がいますが、みな健康です。

出留野さんの口腔内診査の結果、智歯は 4 本とも既に抜歯されており、現在歯数は 28 本、治療の必要な齲歯は認められませんでした。もともと齲蝕にはなりにくい体質のようで、歯科を訪れたのは学生時代に智歯を抜歯して以来とのこと。

一方、歯肉については、上顎前歯部を中心として歯間部歯肉が浮腫性に腫脹しており、一部に発赤も見られました。歯頸部に残っている歯垢の量はそれほど多くなかったものの、染め出しの結果、PCR は 36.9%でした。6 点法でプロービングを行ったところ、BOP は 25.6%となりました。歯周ポケット深さの平均は 2.3 mmでしたが、出血が認められた部位のうち 12 部位では歯周ポケットが 3 mmを超えていました。いずれの歯にもアタッチメントロスはなく、動揺も認められなかったため、X 線検査は行いませんでした。

普段のブラッシングは、朝と晩の 1 日 2 回を習慣にしてきたようですが、最近までつわりがひどく、歯磨きできないことも多かったと話していました。